

森林と都市の未来を考える

神戸市

神戸市木造木質化推進 セミナー

参加者
募集
3/19締切

脱炭素社会やSDGsへの対応のため、都市における木材活用の社会的要請が高まっています。

公共建築物の木造木質化検討にあたって、先進事例を共有するとともに、木造・木質化推進にあたって設計等それぞれの立場が考えるべき視点について学ぶ場とするセミナーを開催することとなりました。

スムーズな(川上～川下双方負担のない)木材調達・加工に向けて設計考えるべきこと、木造木質化の維持管理(長く適切に使うための工夫)、森林や地域経済への貢献について、木造木質化に第一線で取り組まれている設計者の方々から事例とともにご講演いただきます。

都市木造・木質化にご興味のある皆様に広くご参加いただけると幸いです。

日時：令和5年 **3** 月 **22** 日(水) 9時30分～(受付開始9:15～)

場所：オンライン (Zoom) ※申し込みいただいた方へURLをお送りします。

対象：都市部における建築物の木造・木質化に関心のある設計者・施工者等

参加費：無料

講演

●あわくら会館 ～山とともにある地域の木造建築づくり～

小口 亮 氏

(アルセッド建築研究所 主幹/東京大学 非常勤講師)



●森とつながる木の建築づくり

宮村 太 氏 (宮村太設計工房 主宰)



主催：神戸市建築住宅局技術管理課

事務局：(公財)ひょうご環境創造協会・(株)地域計画建築研究所(アルパック)共同体

講演者プロフィール

小口 亮 氏 (アルセッド建築研究所 主幹／東京大学 非常勤講師)

1967年東京生まれ。1992年東京大学工学部建築学科修士課程修了。

1996～2000年林野庁林業機械化センター、2001年宮崎県木材利用技術センター、2014年道の駅あいづ湯川・会津坂下、2020年屋久島町役場など、木造建築・構法を中心に建築設計・監理、コンサルティングおよび研究開発等に従事。継続して中大規模木造の設計を担当。

近年は、地域材を製材として活用した中大規模木造に取り組む。

宮村 太 氏(宮村太設計工房 主宰)

1967年滋賀県東近江市出身。一級建築士。建築設計会社勤務を経て、木造建築に特化した設計事務所「宮村太設計工房」主宰。林業家、森林組合、製材所、工務店らと「安曇川流域・森と家づくりの会」を設立し、森とつながる住まいづくりを広げる活動を展開。現在は木材コーディネーターとしても活動し、滋賀県林業会館移転新築工事では設計段階からの木材調達を实践し、びわ湖材を利用した非住宅分野の木造建築に取り組んでいる。

申し込み



下記申し込みフォームから、お申し込みをお願いします。

(3月19日締切です)

<https://forms.gle/dxQqkEQU6gyQpqrJ7>

フォームにアクセスできない場合は、下記問い合わせ先まで

「件名：神戸市建築セミナー申し込み」として、

「①お名前（ふりがな）、②ご所属、③連絡先（E-mail/TEL）」
をお送りください。

問い合わせ先

(株) 地域計画建築研究所 (アルパック)

担当：中川、三浦、塗師木、霜倉

Mail: nakag-km@arpak.co.jp

Tel : 06-6205-3600 (平日10時～16時) Fax : 06-6205-3601 <http://www.arpak.co.jp/>

※在宅勤務を推進しており、メールでのお問い合わせが確実です。

<企画に関するお問い合わせ>

神戸市建築住宅局技術管理課技術管理係 担当：西山、阪田

Mail:kentikugikan@office.city.kobe.lg.jp

TEL : 078-595-6581 (直通)



神戸市の取組